

令和2年度 動画研修（分析まとめ）

R2年度新型コロナ対策の為、動画研修を行った。動画後アンケートから、動画研修についての分析を行った。アンケートに寄せられた意見の内容をまとめると下記のようなになった。動画をみるのがうまくいかず見る事ができなかったとの意見はなかった。会場での研修参加もよいが、動画研修では時間調整のしやすさや時間の短縮などのメリットがあり有効と考えられる。

①視覚的にみる事の利点

- ・見る・聞くだけでなく、実践もできるような動画もあれば良いと思いました。
- ・目でみて直接言葉のやり取りが聞けたのがよかった。

②時間調整のしやすさ

- ・事業所内で同時に視聴できすぐにディスカッションが行えるので理解がさらに深まりとても有効だと思いました。
- ・時間調整がし易く、とても良いと感じました。
- ・小規模な集まりでも動画配信で情報を共有できるのでよかったです。
- ・この形式であれば、普段参加しづらい変則勤務の職員も参加できる。
- ・自分の都合に合わせた時間帯で研修できるので、会場に出向く方法よりは参加しやすい環境であると思います。
- ・今までの様に、業務終了後に会場に向かうとなると、保育園や学童などに子供を預けている職員に対して、参加を要請するのが難しかった。今回のような動画であれば期間中に全ての職員が参加できる。
- ・研修会場への移動時間短縮や、仕事の合間に効率よく研修する事ができた。

③研修時間の短縮

- ・自宅で、短時間で閲覧できるのが大変良い

④繰り返し見る事が可能

- ・繰り返す事で理解が深まり、前回とは異なる視点からも認識する事ができる。
- ・動画だと聞き逃しなどもなく、何度も繰り返して視聴する事で、内容を理解しやすくなる点は良いと思います。

医療関係者向け動画研修 分析

今までの研修とR2年度の動画研修での参加数の分析を行った。H29年度研修参加総数78名、H30年度200名、H31年度（R元年度）205名、R2年度177名となっている。

	H29	H30	H31(R1)	R2
参加数	78名	200名	205名	177名

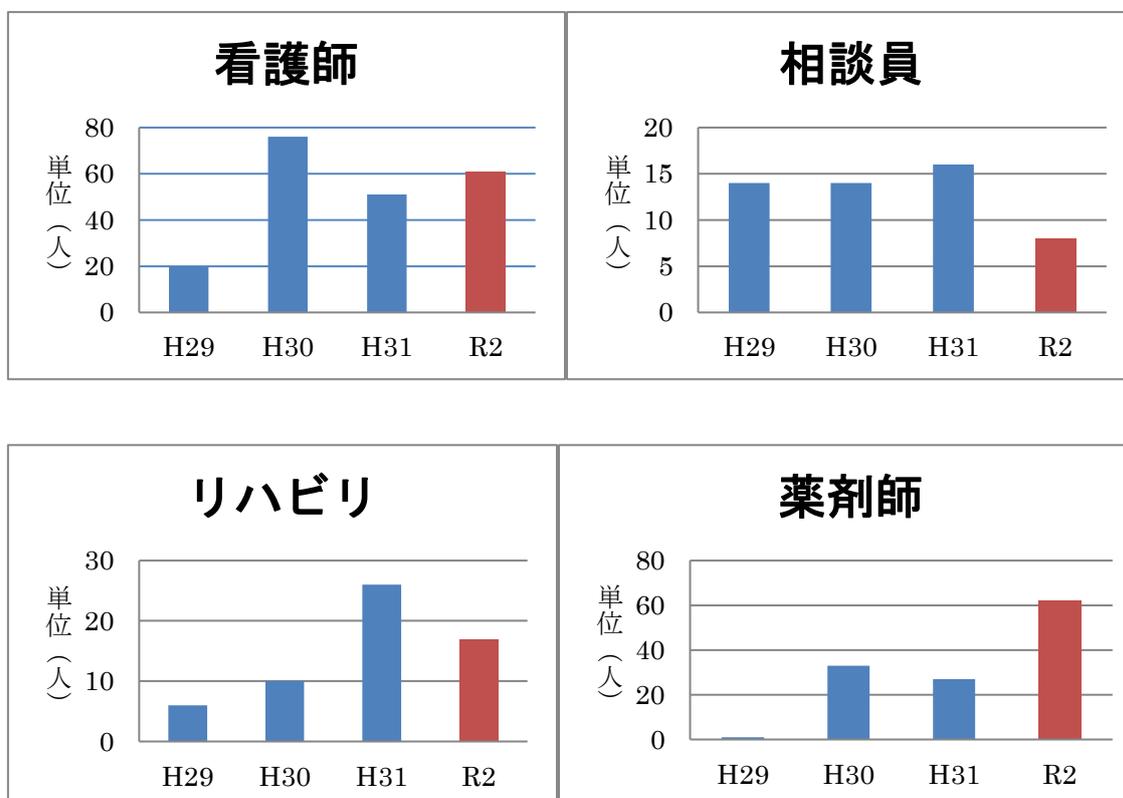
参加人数は、会場での研修と動画研修での大きな差はなかった。介護関係者のような動画にした事による参加人数の増加とはなっていない。薬剤師の参加人数の増加はあり、通常の研修では開始時間には仕事が終わっておらず参加できなかったが、動画は時間の縛りが無い為参加が可能になった事と、テーマが訪問看護であり、同じく訪問時に薬剤を扱う事がある薬剤師が関心をもってくれた事が要因ではないかと考える。

テーマ内容によって参加職種数の変動はあるが、総数の変動はなかった。

テーマ内容での参加人数の変化はないと考えられる。

研修の周知方法として、介護関係者は、各事業所へ案内配布されるが、医療関係者では病院へ配布し各病棟などへの配布をしている事が多い為、案内が目に入られる機会が少ない事が考えられ、周知方法の検討をする必要があると考える。

(参加の多かった職種の参加人数推移)



介護関係者向け動画研修 分析

今までの研修とR2年度の動画研修での参加数の分析を行った。H29年度研修参加総数119名、H30年度255名、H31年度（R元年度）333名、R2年度1,189名となっている。

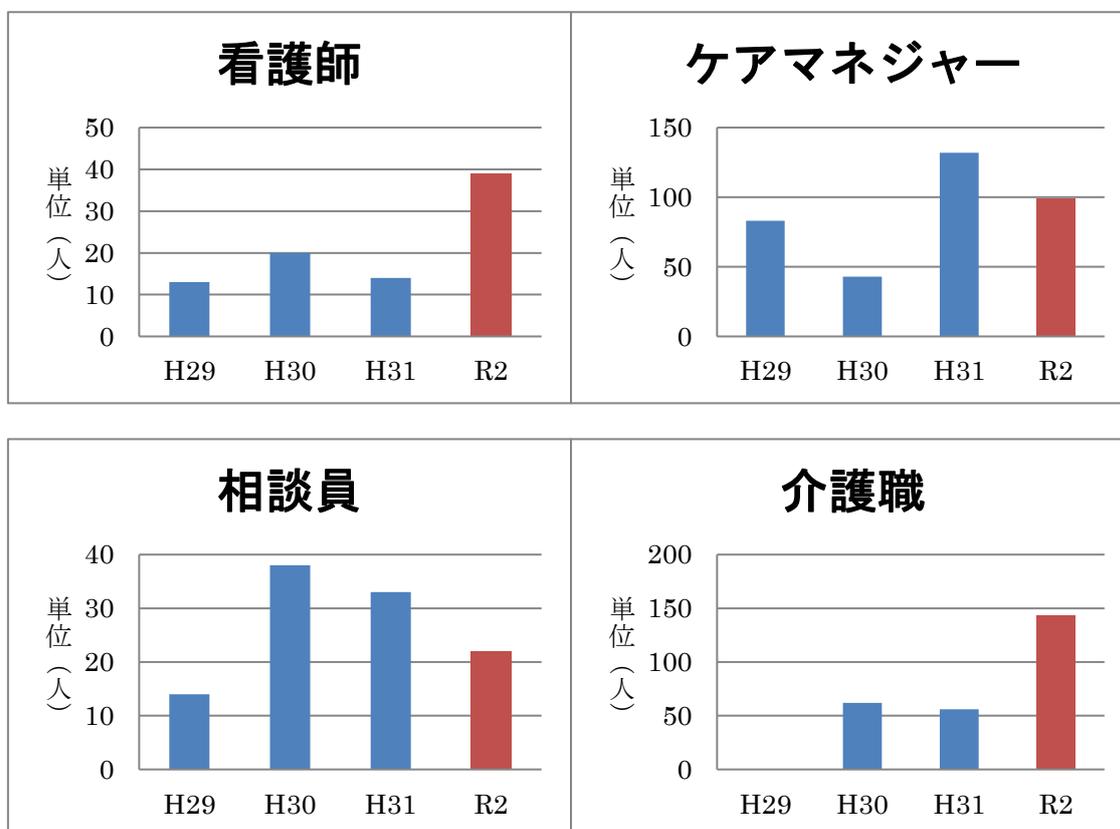
	H29	H30	H31(R1)	R2
参加数	119名	255名	333名	1,189名

動画研修の為、同一人物が数回閲覧する事も考えられるが、動画研修による参加人数の増加の効果はみられている。意見からもあるように、介護関係者の多彩な勤務状況や家庭の事情などから研修参加が従来難しかった人が、動画にする事で参加しやすかった事が要因ではないかと考える。

職種別でみると、介護職・看護師・リハビリの参加数の増加がみられた。新たな職種では、今まででは参加がなかった鍼灸師12名の参加があった。介護職の参加の増加が多く、動画というツールでの効果と考えられる。R2年度は、フレイルについてと医師への伝え方というテーマだった為、リハビリや鍼灸師、介護職の参加に繋がったのではないかと考える。

公開後に、介護関係者から施設内での研修に動画を使用したいとの希望もあり、関心を持って頂けたと感じた。

(参加の多かった職種の参加人数推移)



(令和2年度に参加数が急増した職種および新たに参加のあった職種)

